



懐かしい家々

新井では百年以上経っている民家を数軒見ることができます。

黒くどっしりとならべられた瓦と落ち着いた色の塗り壁にかかる新井の繁栄と、懐かしさを思います。市場で働く人々、干物を加工するおばちゃんたち、まちの表情は多彩です。新井では、漁師でなくとも「〇〇丸」等の屋号で呼び合います。今も日常生活の中に伝統は生き続けています。



二年に一度の新井はだか祭り

現在、静岡県無形文化財に指定され、江戸時代より厳粛な祭りとして知られている新井の例大祭は2年に1度1月7日に開催されます。かつては自分の船を祭りで使ってもらうことが、大変名誉なことでした。



コース情報

旧家(屋号)

■弘誓寺
鐵體美顔居士の墓
一茶と親交があったと言われる俳人で新井の美しい村娘との悲恋で自らの命を断ったとの言い伝えがあります。

■新井神社
恵比寿さんを祀った、伊東温泉七福神のひとつで、新井の漁業の繁栄を祈って人々の熱い信仰を集めている神社です。

■魚市場
漁業は沖合と沿岸漁業に大別され、沖合ではイカ・キンメダイの一本釣りやサバ・ムロアジの棒巻網漁が主力で、沿岸は定置網漁が行われ、水揚げされた魚は削節の原料や鮮魚として出荷されます。

■恵比寿あらいの湯
営業/午後2時～午後10時
定休日/毎週曜日・10月～3月は第三木曜日も休み

■本然寺
初めは真言宗の寺として建立されたが、1600年頃に浄土宗の寺となる。過去の大火灾により、江戸時代末期以前の過去帳は消失してしまったが、樹齢百数年の松の木が寺を見守る。墓場には、新井の繁栄を築いた船主達の古い墓石が点在している。

■妙隆寺
仏現寺の前身は毘沙門堂で、その管理をしていた寺の一つが妙隆寺でした。日蓮上人が伊東に流され、その毘沙門堂で過ごしたことから、真言宗から日蓮宗に改宗し現在に至る。

■妙法寺
共同浴場「毘沙門天芝の湯」は、駐車スペースもあるヘルスセンターのような雰囲気で家族風呂もあります。
※午後2時から午後10時まで営業・火曜定休

■本尊寺
新井の朝は早い。新井は漁師町、早朝から営業している店もあります。早朝ウォーキングで漁師といっしょに朝食でもいかがですか。

■法船寺
新井は漁師町、早朝から営業している店もあります。早朝ウォーキングで漁師といっしょに朝食でもいかがですか。

■本尊寺
伊東市の花木「椿」が新井の各寺の庭で見られます。

■新井地区のお寺
漁業で栄えた新井にはそれぞれの趣を持った3つの寺（宝専寺・弘誓寺・本然寺）があります。

季節の花（椿・あじさい等）が彩りを添えている寺の庭を楽しんでいる人たちもいます。海に山がせまっている地形なので3ヶ所とも坂道を上った所にあり、そのため境内は静かで活気あふれる港周辺とは全く違った雰囲気でその歴史を物語っています。

■伊東最古の歴史の和田湯
和田湯は伊東で一番古くから知られている温泉で豊臣秀吉が没した慶長3年に湯の小屋が建っていたという記録があり、また慶安3年（1650年）には江戸城の将軍に献上されたとあります。この場所は「湯焼地」と呼ばれ、温泉が出るために、稻が育たない土地で、年貢が免じられていたことが古文書に記録されています。

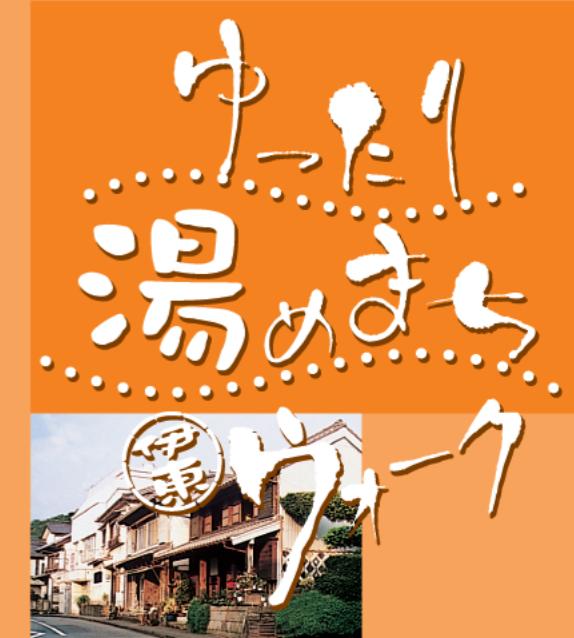
著名人では俳人の種田山頭火が伊東滞在の際に和田湯へ入浴し、日記に「大地から沸きあがる湯は有難い」と記述しています。

現在は共同浴場として地域の人たちに利用されています。

和田寿老人の湯
※水曜定休 午後2時30分～
午後10時30分
☎0557-37-0633

海辺とまちなみコース

伊東市健康保養地づくり実行委員会



ゆったり湯めまちウォークコースエリア

